



第4回サイエンスリンクフェスタ

実施企画案

平成30年10月21日
NPO 法人サイエンスリンク

はじめに

このたびは私どもの企画に関心をよせていただき誠にありがとうございます。

私たちNPO法人サイエンスリンクは、科学の面白さや社会における役割などを多くの人のつながりの中で伝えあう活動、サイエンスコミュニケーション活動（以下SC活動）をしております。私たちが今学んでいることを少しでも社会に還元したい。将来科学に興味をもってくれる子供が増えてほしい。また、科学を通して色々な人をつなげたいといった思いで活動しています。

また、様々な学生をつなげることで、お互いの価値観を共有し、切磋琢磨しあい、成長できる場をつくりたいと願っております。一つの団体にいるだけではわからない考え方も、サイエンスリンクを通して様々な団体がつながることで、一人一人が持っている世界が広がります。それは、私たち学生にとって貴重な経験になります。

大学生主催のイベントを通して、学生をつなげることで、他の団体が持っている強みを取り入れたい。新しくSC活動を始める団体を増やすきっかけをつくりたい。また、大人のSC活動に携わっている方ともつながりたい、という思いで当イベントを企画いたします。

この企画書では、

- 1 企画コンセプト
- 2 企画概要
- 3 予算概要
- 4 ご協力をお願い

の4項目で、順に当企画の紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

1. 企画コンセプト

「S C団体同士の交流する機会を生み出す」

普段は、主に子どもたちに科学の楽しさを伝える活動を行っているS C団体では、S C団体同士での交流の場はほとんどありません。

S C団体同士が交流することにより、切磋琢磨していくことや、各団体の良いところを学び、今後の活動に活かされることが期待されます。

大学生のS C団体だけでなく、S C活動を主に行なっていない団体や高校生団体も巻き込みさまざまな団体が参加するイベントにします。

- ・団体同士の交流を盛んにして、情報や技術の共有をはかる
- 各団体が切磋琢磨することで、学生のS C活動全体の質を向上させる
- ・普段はS C活動を行なっていない団体を巻き込む
- 学生によるS C活動を持続的なものとする

「学生団体の行うS C活動の活性化」

今日ではどのような職業においても社会に対して十分な説明をすることが求められています。特に理系専門職では、科学技術の安全性やその有用性をわかりやすく説明し、広く理解してもらうことが必要です。それにもかかわらず、理系学生が社会に対して情報を発信する機会はあまり多くありません。

学生によるS C活動はその経験を積むことができる良い機会になっています。そこでこの企画では、S C活動に励む学生・団体をつなぐことで学生のS C活動を盛り上げていきます。また、学生によるS C活動全体を刺激し、活性化させることを目的として、プロと呼ばれる大人の方をお呼びすることも考えております。

- ・学生のS C活動の認知度を高め、社会や大学に対してその必要性を訴える
- 学生によるS C活動が支援される環境を整え、普及させる
- ・社会でS C活動をしている方にご参加いただく
- 自分たちが普段行なっている活動の意義を認識し、質を向上させる

2. 企画概要

当企画では、NPO 法人サイエンスリンクと各地の学生主催の SC 団体が協力し、サイエンスコミュニケーター対象の科学イベント「第4回サイエンスリンクフェスタ」を行います。学生間の SC 活動の活性化と後進の育成を主目的としております。

公益財団法人東京応化科学技術振興財団から助成金をいただき運営させていただきます。

企 画 名	第4回サイエンスリンクフェスタ
日 時	2019年03月24日(日)
場 所	スマートコミュニティセンター(ラゾーナ川崎東芝ビル3階)
主 催	NPO 法人サイエンスリンク
後 援	公益財団法人東京応化科学技術振興財団、NPO 法人ガリレオ工房(申請予定)
想定来場者数	高校生・大学生・社会人 200人
出展団体	大学生団体を8団体、高校生団体を2団体見込んでおります。
形 式	<p>出展の SC 団体それぞれが、普段の活動で行っている小学生を対象としたブース形式、ショー形式、または実験教室形式など各団体が最も得意な方法で科学体験の場を提供します。その様子を見ることで普段各団体が行っている活動を互いに評価しあい、その他のお客様にはその活動を知ってもらうとともに、同様に評価を行っていただく予定です。</p> <p>また、高校生向けにポスター発表の場や、大学生 SC 団体にボランティアとして参加の形式を設ける予定です。</p>
入 場 料	無料
広 報	<p>学生に向けてはこれまでにサイエンスリンクに出展してくださった大学生団体、高校に声をかけるとともに、SSH 校¹を中心として、関東圏の高校にお声をおかけし、ビラ等の配布をする予定です。</p> <p>大人の方々に向けてはガリレオ工房の会報と教職員の集まりに参加することを中心に宣伝をいたします。</p>

¹ スーパーサイエンスハイスクール(文部科学省が指定する先進的な理数教育を実施する高等学校)

3. 予算

支出

項目	内容	金額	備考
広報宣伝費	ビラ 500 枚	¥4,000	1 高校/1 科学館に 50 枚として、10 校分
実験材料費	5000 円×10 団体	¥50,000	
特別企画消耗品費	景品・実験大会用予算	¥25,000	
会場運営費	パンフレット等	¥55,000	
通信費		¥16,000	
事前打ち合わせ交通費		¥ 60,000	
合計		¥ 210,000	

収入

項目	金額	備考
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	¥200,000	
自己資金等	¥ 10,000	
合計	¥210,000	

4. ご協力をお願い

このたびは当企画に関心をお寄せくださり、重ねて御礼申し上げます。

子どもは子どもたちに科学の楽しさを伝え、科学とのつながりを感じていただきたいと思ひ活動しています。また、SC活動が社会に広く普及することで、人々の科学リテラシーの向上にもつながると考えています。本企画は、SC活動を社会へ普及させていくための一つのイベントとして位置付けております。

子どもの取り組みに温かいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

NPO法人サイエンスリンク 一同
NPO法人サイエンスリンク 代表
東京理科大学 理学部第二部化学科 2年
関 優真

<連絡先> info@sc-link.net

<電話番号> [070-2671-6506](tel:070-2671-6506)



前回のサイエンスリンクフェスタの様子